

## 組織評価の改善状況報告書

平成 28 年 3 月 28 日

評価会議議長 殿

浜松キャンパス共同利用機器センター長

組織評価に関する実施要項第10に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成27年度の改善状況を報告します。

要改善事項
<u>センターの活動・業績の情報発信の必要性</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・センターの目的や存在自体を積極的に情報発信していくことが必要。（組織の目的）</li><li>・利用状況や成果の公表という点においては十分とはいえない（情報等の公表）</li><li>・日々の利用状況が数値化されておらず、利用状況の定量的把握が困難。（活動の状況と成果）</li></ul>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<ul style="list-style-type: none"><li>・センターとしての成果報告書を作成する（論文数、センター主催のセミナー、講演会、講習会、機器の使用件数、稼働時間等の実績報告）。すでに、今年度からセンターの装置を利用して出た論文を報告してもらうよう、登録研究室に周知徹底してある。定期的（12月、3月）に登録研究室に報告を呼びかける。成果報告書は、次年度初めにWebサイトに掲載する。</li><li>・学内外へセンターの存在をアピールするため、センター主催の分析関連セミナー（8/2に終了）を開催する。今年度は、8月2日に、浜松RAIN房および浜松医科大学の協力を得て、小学生向けに走査型電子顕微鏡を利用したセミナーを開催した。</li><li>・センター主催で関連の講演会（浜医・針山先生？11-12月？）を主催する。今年度は、11-12月に、浜松医科大学の協力を得て、電子顕微鏡関連の講演会を計画する。</li><li>・利用者に対する装置操作講習会を定期的に行う。今年度は、既に3装置について行った。</li><li>・博物館、歴史資料館、文化財センターなどの文化財等の科学分析の要求等を調査し、運営委員会を通して共同研究や依頼分析の可能性を検討する。</li></ul>
改善状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・依頼分析の可能性について、本学定型的試験等取扱要綱及び定型的試験等に関するガイドライン並びに産学連携からの提言を検討した結果、可能であるとの結論に至った。今後、具体的な運用について検討を始める。</li></ul>
達成年度（予定を含む）
全て達成した。

<b>要改善事項</b>
<u>センターの組織構成の再考</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織・人員が十分とはいえない。（組織構成）</li> <li>・専任技術職員の確保とレベルアップ、キャリアパスの準備が必要と思われる。（組織構成）</li> <li>・任期付専任教員の弾力的な任用制度を検討すべき。（教員および支援者等）</li> </ul>
<b>要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、センター関係の技術職員は、技術部からの支援で賄っている（つまり兼任）が、組織として機能するにはセンター専任の技術職員が数名必要である。技術部から独立した組織の可能性を検討し、来年度以降、運営委員会を通して大学当局への要望項目とする。</li> <li>・現在の組織構成は、兼任のセンター長または副センター長1名、専任教員1名、特任助教（専任）1名、センター支援教員（兼任）2名である。特任助教の任期は1年となっているが、センター運営の実務は特任助教が担っている。継続的なセンター運営の視点から、任期についての再考あるいは任期なし専任教員の増員を運営委員会を通して大学当局に要望する。そのための資料を今年度準備する。</li> <li>・技術職員のレベルアップについては、担当機器関連の外部セミナーへの積極的な参加を促す。また、現在、装置の担当者は1名であるため、担当者不在時の対応策を検討し、来年度以降実施する。</li> <li>・センター関連教職員のスキルアップのために、各自が講師となる機器分析に関する勉強会を定期的に行う。第1回目を10月に行う。</li> </ul>
<b>改善状況</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター教職員による機器支援体制を強化し、技術部からは指定した担当機器の支援を依頼することとした。また、支援技術職員の担当する機器に対しては、センター教職員を副担当に任命し、支援体制を強化した。</li> </ul>
<b>達成年度（予定を含む）</b>
<p>全て達成した。</p>

<b>要改善事項</b>
<u>センターの施設・設備の整備</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の老朽化への対応がどのようになされるかの継続性のある計画が今のところ示されていない。（施設・設備）</li> <li>・新規に分析機器などを導入するための指針を学内で共有化しておく必要がある。（施設・設備）</li> </ul>
<b>要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型設備の導入に関しては、大学当局がマスタープランを作成しているので、機器更新計画を早急に作成し、運営委員会を通してマスタープランへの採択を要望する。その際、利用者からの要望をくみ上げるしくみを検討する。</li> <li>・新たな機器の導入ならびに現有機器の排気に関する指針を今年度中に策定する。</li> </ul>

改善状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機器整備の計画について、利用者へのアンケートを実施し、今後の整備計画を策定した。</li><li>・ 現有機器の廃棄に関するガイドラインを策定した。</li></ul>
達成年度（予定を含む）
全て達成した。